進化しつづける無添加
25周年
FANCL

FANCL

第25期事業報告書

平成16年4月1日～平成17年3月31日

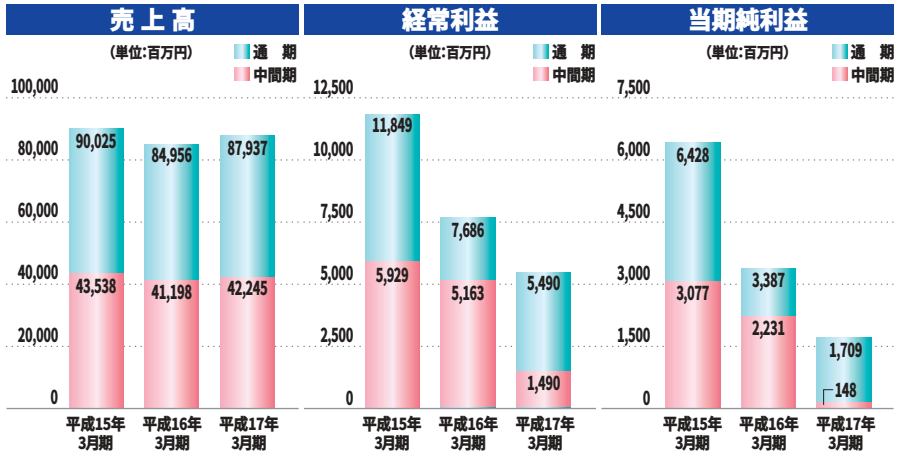
■財務ハイライト

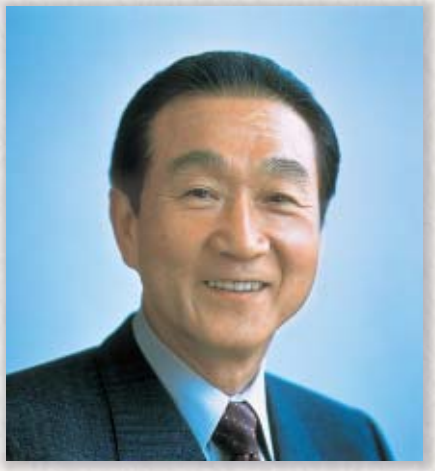
（単位：百万円）

連結	平成15年3月期	平成16年3月期	平成17年3月期
売上高	90,025	84,956	87,937
経常利益	11,849	7,686	5,490
当期純利益	6,428	3,387	1,709
１株当たり当期純利益（円）	279.54	154.57	80.29
総資産	79,804	78,479	79,416
株主資本	66,349	65,613	66,203

単体	平成15年3月期	平成16年3月期	平成17年3月期
売上高	70,733	66,448	69,170
経常利益	9,523	5,906	3,907
当期純利益	5,327	2,602	1,860
１株当たり当期純利益（円）	231.68	118.80	87.40
総資産	67,074	65,900	65,847
株主資本	57,418	55,865	56,633

業績の推移（連結ベース）





創業者 池森賢二
退任のごあいさつ

６月18日、株主総会をもちまして取締役を退任いたしました。

株主のみなさまには日頃より、ご支援とご協力を賜り、誠に有難うございます。

ファンケルはおかげさまで創業25周年を迎えることができました。私のような浅学非才の者がここまでこられましたのも、多くの方々からの支えがあってのことと、心より感謝いたしております。

25周年を一つの節目に、ファンケルは次の節目の50年に向けて新たなスタートをきりました。技術の進歩とともに、これからますます無添加の重要性が高まっていきます。ファンケルの累積特許出願件数は430件を超えました。このような研究技術を大いに活かし、次の大きな夢に挑戦してまいります。

藤原謙次という良き後継者にも恵まれ、安心して舵取りを任せることができます。これから私は名誉会長として、ファンケルの理念を次代に伝えていくことが役割だと考えております。

今後も藤原ファンケルにお力添えを賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

名誉会長　**池森賢二**

代表取締役 社長執行役員　藤原謙次

第25期（平成16年４月～平成17年３月）のファンケルグループ連結決算について概要をご説明申し上げます。

当期の連結業績

当グループは平成15年11月に策定した中期三ヶ年経営計画（FANCL Change & Challenge Plan）に基づき、成長力と収益性の回復を目指しており、第25期はその初年度にあたりました。

化粧品関連事業では、ファンケル化粧品は機能性を重視した製品開発を行い、「マイルドクレンジングオイル」「フェナティ」といったリニューアル製品が売上を伸ばしました。アテニア化粧品は、顧客数が過去最高となり、新製品・リニューアル製品も好調でした。

栄養補助食品関連事業では、一大ブームとなった「コエンザイムQ10」が値下げ効果もあり売上を伸ばしたほか、当社独自成分「ツイントース®」を配合したミネラル製品も堅調に推移しました。

その他事業では、７月に発売した「青汁粉末 ツイントース配合」が好調に推移するなど青汁は売上を伸ばしましたが、発芽玄米、いいもの王国の売上は低迷しました。

以上の結果、当期の売上高は87,937百万円（前期比3.5%増）となりましたが、顧客基盤の強化を図る目的で広告宣伝費・販売促進費を前期よりも多く投下するとともに、店舗の改装・出店を積極的に行ったため、経常利益は5,490百万円（前期比28.6%減）、当期純利益は1,709百万円（前期比49.5%減）となりました。

また当期は、前期に比べて中間配当を７円50銭増配し、１株当たり年間50円（中間・期末　各25円）の配当を実施いたしました。

中期三ヶ年経営計画

初年度においては、コア事業である化粧品関連事業と栄養補助食品関連事業が売上を回復しほぼ計画通りだったものの、発芽玄米事業やいいもの王国通販事業の売上および利益については当初計画を大幅に下回る見通しであることから、最終年度の数値目標を下記の通り見直しました。

数値目標（平成19年３月期）

	今回修正目標	前回目標
連結売上高	1,050億円	1,200億円
連結経常利益	120億円	160億円
連結経常利益率	11.4%	13.0%
連結総資本利益率	13.5%	16.0%

しかしながら、中期経営計画の基本方針である変革と挑戦は変わることなく継続し、２年後の平成19年３月期には過去最高売上・利益を達成したいと考えております。

各事業の戦略

化粧品関連事業では、「マイルドクレンジングオイル」の育成を行い、洗顔パウダーのリニューアルなど、スキンケアを中心に機能性を重視した製品開発を進めます。販売チャネルでは通信販売を核とし、店舗販売では積極的な新規出店により売上を拡大してまいります。

栄養補助食品関連事業では、当社独自成分を用いた高付加価値製品を投入します。販売チャネルでは通信販売を核とし、店舗販売ならびに卸販売を強化してまいります。

発芽玄米事業は、スーパーマーケットなど卸先の拡大や加工食品の開発を強化し、工場の稼働率を向上させることで黒字化を目指します。

青汁事業は、利益率の高い高付加価値製品にシフトすることにより収益性の改善を図り、黒字化を目指します。

いいもの王国通販事業は、商品力の強化と経費削減により、安定して利益を上げられる体制を構築してまいります。

また、店舗については、積極的な出店を継続し、計画通り三年で300店体制を目指します。加えて、スピード決済による利便性の向上を目指した新サービスの開発など、お客様一人ひとりとのコミュニケーションの充実とサービス向上を図ります。

株主のみなさまにおかれましては、何とぞこれまでと変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

中期三ヶ年経営計画

FANCL Change & Challenge Plan

「もう一度成長を取り戻すプラン」

成長力と収益性の回復を目指し、
①各事業の位置付けと方向性の明確化
②製品と販売チャネルの最適化
を図ってまいります。

平成19年3月期 Progress 前進の年

	目標
連結売上高	1,050億円
連結経常利益	120億円
連結経常利益率	11.4%
連結総資本利益率	13.5%

平成18年3月期 Structure&Progress 構築・前進の年

平成17年3月期 Change&Structure 変革・構築の年

各事業の位置付け		事業の方向性
コア事業（収益性を重視）	化粧品関連事業	・機能性を重視した製品開発の推進
	栄養補助食品関連事業	・独自素材を用いた高付加価値製品を投入
成長事業（成長力を重視）	発芽玄米事業	・卸先の拡大や加工食品の開発を強化
	青汁事業	・利益率の高い高付加価値製品にシフト
	いいもの王国通販事業	・商品力の強化と経費削減

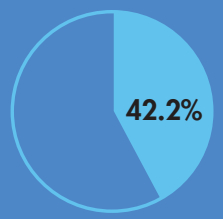
販売チャネル

・それぞれの事業に適した販売チャネルの強化
・積極的な店舗出店

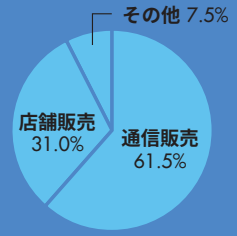
	H17.3（実績）	H18.3（計画値）
ファンケルハウス	110	140
ファンケルハウスJ	37	67
元気ステーション	9	9
アテニアショップ	9	10
その他	3	3
合計	168	229

化粧品関連事業

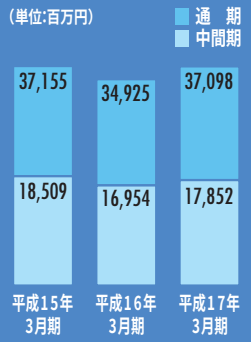
事業別売上高構成比



販売チャネル別
売上高構成比



売上高



化粧品関連事業の売上高は、37,098百万円（前期比6.2%増）となりました。そのうち、ファンケル化粧品は27,759百万円（前期比5.3%増）、アテニア化粧品は9,042百万円（前期比11.0%増）の売上高となりました。

販売チャネル別では、通信販売の売上高は22,829百万円（前期比4.4%増）となりました。ファンケル化粧品は、リニューアル効果により「マイルドクレンジングオイル」「フェナティ」の売上が伸長したことに加え、メーク製品や季節限定製品も堅調に推移し、通信販売での売上高は14,432百万円（前期比1.4%増）となりました。一方、アテニア化粧品は、効果的な広告宣伝活動および販売促進活動を行った結果、顧客数は期末現在で過去最高となり、新発売の高機能美白美容液「ナイトホワイトCC」や、メークを中心としたリニューアル製品も好調で、通信販売での売上高は8,392百万円（前期比10.0%増）となりました。

店舗販売は、店舗スタッフの教育強化、処遇面での見直し、店舗オペレーションの改善、店舗改装などを積極的に行った結果、既存店の売上高が増加に転じました。新規出店効果もあり、売上高は11,491百万円（前期比8.3%増）となりました。

その他の販売チャネルは、コンビニエンスストアでの売上は前期を下回ったものの、香港を中心とした海外向けの販売が好調に推移したことにより、売上高は2,777百万円（前期比13.5%増）となりました。

吸い込まれるように浸透して、肌の奥からうるおう、もちもち肌を実感

「エクセレント モイスチュアー クリーム」新発売

スキンケアにおいて重要な機能である「保湿」に正面から取り組んで研究・開発したファンケル最高峰の保湿力を誇る「高保湿クリーム」です。数々の実験から導き出された珠玉の成分の組み合わせで、たっぷりうるおいを与えるだけでなく自らうるおう力を高め、「うるおいの実感」を実現させました。

紫外線から素肌をガード！

2つの「サンガード」がリニューアル新発売

<しっかり・やさしく・美しく>をさらに進化させた無添加の日焼け止めです。紫外線吸収剤不使用はもちろん、紫外線散乱剤をスキンケア成分でコーティングし、バリア機能の修復効果と高い保湿効果をもっているので、デリケートな肌の方にも安心してお使いいただけます。やさしさと、紫外線からしっかり肌を守る効果の両立を実現しました。

サンガード30
エイジングケア成分も配合し、
強烈な紫外線を長時間カット。

サンガード12
SPF値が12になって、やさしさはそのままに
UV効果が高まりました。

リニューアルポイント

- Point 1 さらに「やさしく」紫外線散乱剤にもスキンケア成分でコーティング。
- Point 2 さらに「しっかり」光老化や乾燥から肌を守る。
- Point 3 さらに「美しく」ナノメッシュ処方で、透明感がアップし、ムラなくUVカット。

お風呂場でも使える高機能クレンジング

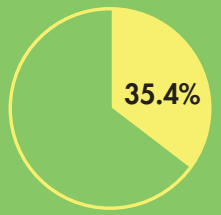
アテニア「クリア オイルクレンズ」新発売

アテニア独自の「ウォーターキャッチオイル処方」で濡れた手で使っても高いクレンジング力を発揮するクレンジングオイルを発売しました。スローフード大賞を受賞した高機能植物オイル「アルガンオイル」を日本で初めて配合。毛穴の奥の汚れ・角栓までしっかりすばやく落としながら、素肌をつるつるなめらかに整えます。

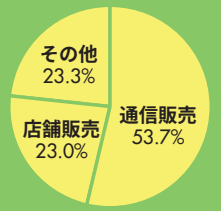
スローフード大賞
毎年「スローフード協会」によって審査され、贈られる賞。世界各地の環境・文化に則した多彩な食やそれに尽力する人物を守り、発展させることを目的としています。

「アルガンオイル」
モロッコにしか存在しないアカテツ科の低木樹「アルガンツリー」の果実100kgからたった1リットルしか採れない貴重なオイル。古くから遊牧民の間で料理や薬用・美容目的で利用され、欧米でもその効用が注目されている素材。また現在、このアルガンオイルの生産を通じて、サハラの女性の自立を目的としたプロジェクトも展開されています。

事業別売上高構成比



販売チャネル別
売上高構成比



売上高

栄養補助食品関連事業
(旧健康食品関連事業)

栄養補助食品関連事業の売上高は、31,131百万円(前期比5.0%増)となりました。

通信販売の売上高は、16,709百万円(前期比1.6%増)となりました。健康情報テレビ番組で取り上げられた「コエンザイムQ10」は、値下げ効果もあって1製品としては記録的な売上となりました。また、当社独自の新機能成分「ツイントース®」配合のミネラル製品も堅調に推移しております。

店舗販売は、化粧品が中心のファンケルハウスでの販売が好調に推移し、栄養補助食品の売上が多いファンケルハウスJの店舗数が増加したことにより、売上高は7,175百万円(前期比19.7%増)となりました。

その他の販売チャネルでは、コンビニエンスストアやスーパーマーケットでの売上は前期を下回りましたが、香港向けなど海外向けが増加したことにより、7,246百万円(前期比0.3%増)となりました。

「どこでもカルシウム ツイントース配合」

かんで食べる
サプリメント
新発売！

年齢とともに減少する骨量。日頃からカルシウムを十分に補給することが大切です。ヨーグルト風味のかんで食べるサプリメントはツイントース配合で、カルシウムをしっかり吸収できます。

- サクッとかむとお口の中で溶ける新感覚サプリメント
- 厚生労働省が定めた保健機能食品(栄養機能食品)
- 小さなお子さまやご年配の方でも安心して召し上がれます
- 持ち運びに便利な小袋タイプ

「どこでもビタミンC&B」

美容と健康のためにも欠かさず摂りたいビタミンCとビタミンB。そんな、現代人の生活に欠かせないビタミンを6粒にギュッと凝縮しました。レモン風味なので、お菓子感覚で手軽にビタミンを摂取できます。

「マカ」リニューアル新発売

リニューアルポイント

マカエキスとマカ機能成分ベンジルグルコシノレートを増量。
小さく飲みやすいタブレットになりました。

マカは古来より滋養強壮作用で知られる南米アンデス原産の植物。最近の研究では、ホルモンバランスを整える働きから更年期障害、不妊、アンチエイジングの効果も期待されており、男性だけでなく女性にも注目の素材です。

ツイントース® とは？

「ツイントース®」は、北海道大学、日本甜菜製糖株式会社と共同で研究開発した新機能成分。カルシウムや鉄などのミネラルの吸収を画期的に高めます。しかもチコリの根を原料とした植物由来の成分。深刻化するミネラル不足を解消する新機能成分として注目されています。

例えば ツイントースを配合すると
▶カルシウムの吸収率が約1.4倍にアップ
▶カルシウムの体内保留率が約6.2倍にアップ

- ミネラルの吸収・保有を促進
- 骨の形成を促進

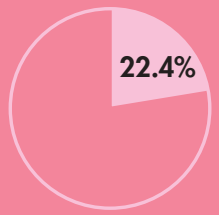
ツイントース®は株式会社ファンケルの登録商標です。

製品ラインナップ

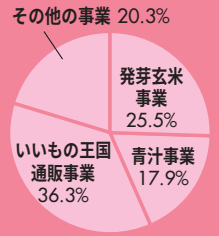
カルシウムマグ ツイントース配合 / 鉄 ツイントース配合 / 亜鉛 ツイントース配合 / マルチミネラル ツイントース配合 / 青汁粉末 ツイントース配合 / グッドチョイス ベーシック / グッドチョイスM / グッドチョイスW

その他事業

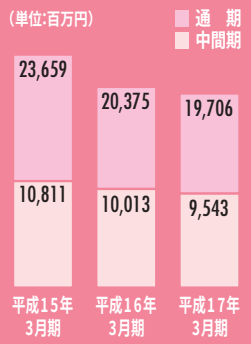
事業別売上高構成比



セグメント内
売上高構成比



売上高



その他事業の売上高は、19,706百万円（前期比3.3%減）となりました。

発芽玄米事業は、新製法により味・香り・食感を大幅に改善した発芽玄米を、通信販売・店舗販売においては６月より、スーパーマーケット向けなどについては９月より販売を開始しました。しかし、通信販売での売上は減少し、スーパーマーケット向けの売上も本格回復には至らず、売上高は5,026百万円（前期比6.6%減）となりました。

青汁事業は、冷凍タイプに加え、７月発売のツイントース配合粉末タイプが好調に推移したことにより、すべての販売チャネルにおいて売上が増加し、売上高は3,524百万円（前期比18.1%増）となりました。

いいもの王国通販事業（旧NGC通販事業）は、カタログでの販売が低迷し、売上高は7,153百万円（前期比13.5%減）となりました。

その他の事業は、肌着・雑貨の販売が堅調に推移したことにより、売上高は4,002百万円（前期比7.1%増）となりました。

発芽米〈もち〉

もち米の玄米を発芽させた「発芽もち玄米」を100%使用。ふっくらした一粒ひとつぶの素材感と自然のやさしい甘み。発芽もち玄米の食感と味わいにこだわりました。

ご好評にお応えし、定番化発売！

発芽米〈おかゆ〉ふかひれ

気仙沼産の「高級ヨシキリザメ」のふかひれだけを贅沢に使用しました。発芽米の栄養成分に加え、美容に良いといわれるコラーゲンも豊富に含まれています。

発芽米〈おかゆ〉陸奥湾産ほたて

発芽米の栄養成分に加え、滋養強壮に良いといわれるタウリンも豊富に含まれています。青森県陸奥湾産の良質なほたて貝柱をまるごと使用しています。

研究所ニュース

●当社研究員の青砥弘道が平成16年度安藤百福賞*を受賞

ドライタイプの発芽玄米「ファンケル発芽米」の開発により、当社中央研究所の青砥弘道が平成16年度安藤百福賞・食品開発部門優秀賞を受賞いたしました。「食品開発部門優秀賞」は、独創的な技術開発により新しい市場を創造した商品、あるいは新しい業態を創造した技術を対象としており、青砥らの研究成果が発芽玄米の新たな市場を創造したと認められ、この度の受賞となりました。

*安藤百福賞は、日清食品株式会社の創業者で代表取締役会長の安藤百福氏の私財により創設された財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団の支援を得て運用している「食創会」が、原則として個人に対し表彰する賞です。

●研究・学会発表

中央研究所では、皮膚生理学、医学、農学、薬学など幅広い分野の研究者を擁し、独自の理論や処方の開発に取り組んでいます。各関連学会にも研究発表を積極的に行い、平成16年度は35件の発表と17件の論文投稿を行っています。

特集

あなたとともに四半世紀

ファンケルの歩み

25年前、化粧品による肌トラブルが大きな社会問題になっていたころ、肌の弱い女性でも安心して使用できる「無添加化粧品」を世に送り出したのがファンケルの出発点です。美しくなるための化粧品で肌を悩ませないようにと無添加化粧品を、また体の内側からも美しく健康になるために、高品質で低価格のサプリメントを始めました。さらに野菜不足を補える栄養バランスに優れたケールに着目し、おいしく飲みやすい青汁を開発し、主食の栄養不足に着目して発芽玄米事業をスタートさせました。

ファンケルには、日常の不安や不満などの“不”を解消したいという強い想いがあります。これからも、人々が美しく健康に生きることを応援するため、美と健康を追求し、最高レベルの安心で安全な製品・サービスを提供してまいります。

そしてファンケルは、「常に人にやさしい企業でありつづけたい」と心から願っています。

“不”の解消というひとつの想いから
いろいろなファンケルが
生まれました。

- 化粧品が起こす肌トラブル
- 一週間使いきりの無添加化粧品
- 価格の高い健康食品
- 高品質で低価格なサプリメント
- 高価な化粧品は良い化粧品?
- リーズナブルな高級化粧品（アテニア）
- 食べにくい、調理しづらい玄米
- 発芽玄米
- 体に良いけどまずくて、高い青汁
- 気軽に買えて、飲みやすくおいしい青汁

Fancl Chronicle

25周年 FANCL

2003 平成15年 ・銀座５丁目に「ファンケルスクエア」オープン
・代表取締役社長に藤原謙次が就任

・阪神タイガース18年ぶりリーグ優勝
・米英のイラク戦争、フセイン元大統領を拘束
・「千と千尋の神隠し」にアカデミー賞

2002 平成14年 基礎化粧品を全面リニューアルし、『フェナティ』『エヴァンテ』を発売

・ソルトレイク冬季五輪開催
・ノーベル賞初のダブル受賞（物理学賞:小柴昌俊、化学賞:田中耕一）
・日韓共催FIFAワールドカップ開催

2000 平成12年 発芽玄米・冷凍青汁を発売開始

・シドニー五輪開催 ・南北朝鮮首脳が初の会談
・介護保険制度スタート ・三宅島噴火で全島避難

1999 平成11年 中央研究所を新設
（化粧品研究センターと食品科学研究所を統合）

・EUでユーロ導入 ・日本初の脳死判定による臓器移植
・東海村で国内初の臨界事故発生

1995 平成７年 ・静岡にファンケルハウス１号店開店、直営店舗展開を開始
・基礎化粧品の容器が５mLから10mLに

・阪神・淡路大震災 ・地下鉄サリン事件 ・パソコン、携帯電話がブームになる

1994 平成６年 栄養補助食品の通信販売を開始

・関西国際空港が開港 ・松本サリン事件 ・大江健三郎がノーベル文学賞を受賞
・日本人初の女性宇宙飛行士、向井千秋さんがスペースシャトル「コロンビア」に搭乗

1993 平成５年 無添加メークブランド「ベルメール」が誕生

・皇太子さま、小和田雅子さんとご結婚 ・北海道南西沖地震 ・サッカーJリーグ開幕
・ナタデココ流行 ・映画「ジュラシック・パーク」が人気

1989 平成元年 株式会社アテニアを設立。
“高感度・高品質・低価格”をコンセプトにしたアテニア化粧品の販売開始

・「おたく族」「３Ｋ」などが流行語に ・リクルート事件 ・消費税スタート

1984 昭和59年 コミュニケーションマガジン「エスポワール」創刊

・日本、世界一の長寿国に ・グリコ、森永事件 ・「スチュワーデス物語」大ヒット

1981 昭和56年 法人化。翌年に（株）ファンケルに社名変更

・神戸ポートピア81開催 ・中国残留日本人孤児が初来日
・福井謙一がノーベル科学賞を受賞

1980 昭和55年４月 池森賢二が化粧品販売を個人創業、化粧品の通信販売を開始

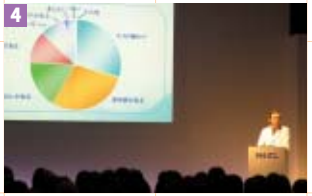
・竹の子族ブーム ・流行語「ナウい」「カラスの勝手でしょ」

社会問題解決企業ファンケルの
Now and Then

TOPICS

「素肌美フォーラム」を開催

平成17年４月に創業25周年を迎えた当社は、「ファンケル素肌美フォーラム」を全国15ヵ所で開催いたしました。これは、創業者である池森賢二の「直接お客様に感謝の気持ちをお伝えしたい」という想いから企画されたイベントで、のべ5,000人のお客様にご来場いただきました。第一部は、タレント林マヤさんと池森によるトークショー。ファンケル創業時や無添加化粧品誕生のエピソード、社会貢献活動や健康法など、さまざまな話題が繰り広げられました。第二部は、ファンケル中央研究所の研究員による最新のデータや研究成果を交えた素肌美実現のための美容セミナーの二部構成。その他、肌チェック、商品のお試し、発芽米や青汁を使った軽食の各コーナーが設けられ、いずれも大盛況でした。ファンケルの取り組みや製品について、お客様により知っていただけた有意義なフォーラムとなりました。



1 青汁・発芽米を使ったおいしいカクテル・フードが大人気
2 研究員によるマイルドクレンジングオイルのデモンストレーション
3 マヤさんとの息もぴったり。笑いあり、涙ありのトークショー
4 スライドを交えた説明に、細胞レベルでの添加物の影響を実感
5 お肌ケアについてアドバイスを受けるお客様

「ファンケル中央研究所」ホームページオープン

お客様に安心して製品をお使いいただくために、ファンケル製品のバックボーンを知っていただきたいという想いから、新たに中央研究所ホームページを開設。研究所のビジョンや製品開発秘話などをご紹介しています。無添加にこだわり、その製品開発に取り組む研究所の姿をご覧ください。

http://www.fancl-lab.com/

医学部に初めて安全性研究のための寄付講座を開設

健康食品の機能性と安全性、無添加化粧品のメリットを科学的に研究し、新しい安全基準の確立を目指すため、京都府立医科大学に「生体安全医学講座」を開設しました。平成16年５月～平成19年までの３年間、吉川敏一教授を中心に研究が進められます。この講座では、安全基準確立のために遺伝子レベルでの解析を行い、化粧品、健康食品の安全性を評価する手法を研究開発しています。

新潟中越地震被災地への救援物資を送付

小千谷・長岡をはじめとする新潟中越地震の被災地のみなさまに対して、ファンケルグループでは、復旧のお役に立てればと思い、自社製品1,000万円相当を送付いたしました。

アテニア ピンクリボンフェスティバルにボランティア参加

アテニアは「社会全体にも貢献できる企業でありたい」との想いから、平成16年の創立15周年を機に、NPO法人「J.POSH」を通じてピンクリボン運動（乳がんに対する啓発活動）に寄付、支援を行っています。平成16年10月１日には街頭キャンペーン、翌２日には「ピンクリボン スマイルウォーク（東京大会）」に、アテニアスタッフもボランティアとして参加しました。

貸借対照表

（単位：百万円）

科目	前期 平成16年3月31日現在	当期 平成17年3月31日現在
（資産の部）		
流動資産	39,236	39,079
現金及び預金	15,828	17,380
受取手形及び売掛金	7,814	8,713
有価証券	7,732	4,926
たな卸資産	5,472	5,663
その他の流動資産	2,388	2,395
固定資産	39,242	40,336
有形固定資産	26,767	26,533
建物及び構築物	12,701	12,781
その他の有形固定資産	14,065	13,752
無形固定資産	1,636	1,222
投資その他の資産	10,839	12,579
投資有価証券	1,083	1,954
長期貸付金	1,007	659
保証金	2,502	2,526
その他の投資その他の資産	6,245	7,438
資産合計	78,479	79,416
（負債の部）		
流動負債	10,022	10,457
支払手形及び買掛金	3,172	3,049
その他の流動負債	6,849	7,408
固定負債	2,843	2,754
負債合計	12,866	13,212
（資本の部）		
資本金	10,795	10,795
資本剰余金	11,706	11,706
利益剰余金	50,528	51,172
その他有価証券評価差額金	54	26
為替換算調整勘定	△4	△4
自己株式	△7,466	△7,492
資本合計	65,613	66,203
負債・資本合計	78,479	79,416

損益計算書

（単位：百万円）

科目	前期 自 平成15年4月 1日 至 平成16年3月31日	当期 自 平成16年4月 1日 至 平成17年3月31日
売上高	84,956	87,937
売上原価	29,260	30,031
売上総利益	55,696	57,905
販売費及び一般管理費	47,926	52,476
営業利益	7,769	5,428
営業外収益	701	770
営業外費用	784	709
経常利益	7,686	5,490
特別利益	0	57
特別損失	1,472	1,181
税金等調整前当期純利益	6,213	4,366
法人税、住民税及び事業税	3,153	2,532
法人税等調整額	△326	124
当期純利益	3,387	1,709

剰余金計算書

（単位：百万円）

科目	前期 自 平成15年4月 1日 至 平成16年3月31日	当期 自 平成16年4月 1日 至 平成17年3月31日
（資本剰余金の部）		
資本剰余金期首残高	11,706	11,706
資本剰余金期末残高	11,706	11,706
（利益剰余金の部）		
利益剰余金期首残高	48,027	50,528
利益剰余金増加高	3,387	1,709
利益剰余金減少高	886	1,065
利益剰余金期末残高	50,528	51,172

キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目	前期 自 平成15年4月 1日 至 平成16年3月31日	当期 自 平成16年4月 1日 至 平成17年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,861	4,637
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,118	△4,807
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,532	△1,090
現金及び現金同等物に係る換算差額（差益：△）	△20	5
現金及び現金同等物の増減額（減少：△）	△2,808	△1,253
現金及び現金同等物期首残高	26,370	23,561
現金及び現金同等物期末残高	23,561	22,307

■会社情報（平成17年３月31日現在）

会社概要

会社名	株式会社ファンケル
英文名	FANCL CORPORATION
本店所在地	横浜市栄区飯島町109-1
本社事務所	横浜市中区山下町89-1
電話番号	045-226-1200（代表）
設立	昭和56年８月
資本金	10,795百万円
従業員数	642名　※パート・嘱託は除く
主な取引銀行	UFJ銀行 東京三菱銀行 みずほコーポレート銀行 横浜銀行

役員（平成17年６月18日現在）

○印 代表取締役
＊印 取締役

○社長執行役員	藤原　謙次
専務執行役員	余頃　康之
＊常務執行役員	宮島　和美
＊常務執行役員	中島　純也
＊常務執行役員	針谷　吉典
常務執行役員	奈須野　俊廣
＊取締役	成松　義文
＊執行役員	石渡　健一
＊執行役員	池森　行夫
執行役員	圓山　勝美
執行役員	芝　正二
執行役員	辻　智子
執行役員	村上　晴紀
執行役員	龍地　敏典
執行役員	片瀬　信郎
執行役員	山口　友近
執行役員	矢島　明
執行役員	平野　豊
＊取締役	早川　吉春
常勤監査役	山田　鯛二
常勤監査役	池田　文子
監査役	小関　勝紀
監査役	飛島　章

（注）1. 取締役の早川吉春氏は、商法第188条第２項第７号ノ２に定める社外取締役であります。
2. 監査役の山田鯛二、池田文子、小関勝紀および飛島章の４氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第１項に定める社外監査役であります。

連結子会社一覧

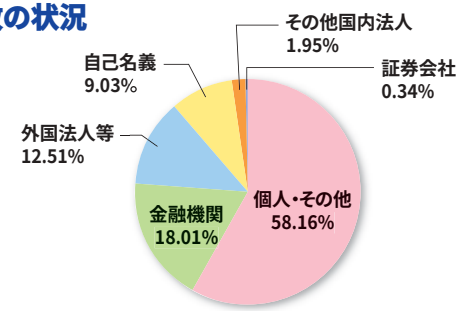
会社名	住所	資本金	設立	議決権の所有割合	事業内容
（株）アテニア	横浜市栄区	150百万円	平成元年２月	100%	化粧品・栄養補助食品の販売
ニコスター（株）	横浜市栄区	10百万円	昭和59年９月	100%	化粧品の製造
（株）いいもの王国	東京都渋谷区	160百万円	昭和37年12月	100%	健康器具・家庭用雑貨等の販売
（株）ファンケル発芽玄米	長野県東御市	95百万円	平成11年８月	84.6%	発芽玄米の製造
FANCL ASIA (PTE.,) LTD.	シンガポール	875百万円	平成12年３月	100%	化粧品・栄養補助食品等の販売
（株）ファンケル美健	横浜市栄区	75百万円	平成14年10月	100%	化粧品・栄養補助食品の製造

■株式情報（平成17年３月31日現在）

株式の状況

証券コード	4921（東証１部）
会社が発行する株式の総数	77,946,000株
発行済株式の総数	23,392,200株
株主数	20,918名

所有者別株式数の状況



株主メモ

決算期日	３月31日
定時株主総会	６月中
基準日	３月31日
１単元の株式数	100株
名義書換代理人	東京都中央区八重洲一丁目２番１号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目２番１号 みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部 0120-288-324（フリーダイヤル）
同取次所	みずほ信託銀行株式会社　全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社　本店および全国各支店
公告の方法	電子公告（当社ホームページ　http://www.fancl.co.jp）

＊当社株式に関する事務手続き用紙（お届出の住所・姓名・印鑑等の変更届、配当金振込指定書、名義書換請求書等）のご請求につきましては、上記名義書換代理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間承っておりますので、ご利用ください。

0120-288-324（フリーダイヤル）　インターネットアドレス　http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/

お知らせ

平成17年６月21日付で、名義書換代理人をUFJ信託銀行株式会社からみずほ信託銀行株式会社に変更いたしました。

株式会社ファンケル

［本　　店］〒247-8577 横浜市栄区飯島町109-1
［本社事務所］〒231-8528 横浜市中区山下町89-1
TEL: 045（226）1200（代表）

当社に関する情報についてはホームページでもご覧いただけます。

http://www.fancl.co.jp/

環境に配慮して再生紙を使用しています。